

海老名市立有鹿小学校 学校運営協議会 議事録
(令和4年度 第2回)

- 1 日時 令和4年10月13日(木) 10:00~12:00
- 2 場所 海老名市立有鹿小学校 コミュニティ・ルーム
- 3 出席委員 碓井雅巳会長、鍵渡正徳副会長、越智正則委員、北川八重子委員、大久保敏委員、田中由美野委員、伊藤恵美子委員、加藤誠一委員、新井悦子委員、境景子委員、徳山敬倫委員

4 会議の内容

(1) 会長あいさつ

碓井雅巳会長：気温が寒くなり、季節が急に変わってきた。
地域では稲刈りなどが行われる季節になった。
運動会を参観させていただき、子どもたちの姿から元気をもらった。
せせらぎ祭りにも小学校は初参加となるので楽しみにしている。

(2) 学校長あいさつ

境 校 長：運動会では学校運営協議会の皆様に参観していただくことができ、よかった。感染防止対策を行いながら練習も取り組んできた。今年度は、自分たちの競技・演技を他学年の人たちに見てもらったり、他学年の競技・演技を見て応援したりすることができた。達成感を感じたり、感動したりする等、その教育効果は大きいと感じた。

(3) 議事①上半期の学校の状況、教育活動について(報告)

境 校 長：1学期において、5年生の野外教育活動については全員参加で実施することができ、よかった。1~4年生のバス遠足も計画通り実施ができた。また、社会科見学等については、6年生は国会へ、4年生は県総合防災センターへ実際に行ってきた。3年生と5年生は工場見学をそれぞれオンラインで行った。1年生は学区探検に、また2年生は学区にあるお店にインタビューを行っている。校外学習も含めて、可能な限り、できる教育活動は実施するように努めている。

加藤委員：バス遠足について、感染防止対策を考える上で、バスの中での子どもたちはどのような様子か。

境 校 長：バスの中では、以前のようなバスレクはなく、バス会社が用意してくださっているDVD等を観ながら静かに過ごしている。おしゃべりをしない約束

は、子どもたちはしっかり守れている。昼食時も給食と同じく黙食。今の子どもたちにとっては、これが当たり前になってきている。

境 校 長：1人1台端末の配付について、2学期に入り、2年生にも一人ひとりにタブレットの配付があり、現在、使い方等について学習中である。1年生についても配付の準備が整い次第今月には配付する。

越智委員：オンライン工場見学でも1人1台の端末を活用したのか。

境 校 長：オンライン工場見学においては、クラスごとにスクリーンで行った。

大久保委員：学校便りに、地域の方に向けて、運動会に係る期間の放送等へのご理解ご協力について記載されていたが、地域からの苦情等どうだったか。

境 校 長：一つもなかった。大変な騒音となっていたと思われるが、苦情等一つもなかった。ご理解とご協力に感謝している。

大久保委員：それはよかった。せっかくの行事への取り組みなので、心配していた。地域の理解があってよかった。

(4) 議事②「目指す姿」の実現にむけた協議

境 校 長：有鹿小コミュニティ館の活用についてご意見をいただきたい。

加藤委員：コミュニティルームをバザー等で使用できたらありがたいと考えている団体はある。

新井委員：使用団体としての市への最初の登録手続きが少し大変だった記憶がある。

越智委員：青少年指導員として以前コミュニティルームを休日使用したことがある。

加藤委員：手続き等もっとフレキシブルにできるとありがたい。

伊藤委員：コミュニティルーム等を、地域や校外団体に貸し出すことについて、保護者はどのように考えているのか。平日の児童が学校にいる時間帯は安全面を考えると避けたほうが良いと考える保護者もいるのではないか。

境 校 長：次回の学校懇談会で話題にあげ、意見を伺う。

碓井会長：鼓笛についてはどうか。

田中委員：鼓笛の地域発信については、今年度は、三川公園で行われる「せせらぎ祭り」への参加に向けて、三川公園側のスタッフとの打ち合わせや日程の調整等準備を進めている。

碓井会長：海西中のブラスバンドの参加はこれまでもあったが、有鹿小の鼓笛隊の参加は初めてなので楽しみである。

(5) 議事③子どもに係る具体的な課題についての協議

境 校 長：令和4年度全国学力・学習状況調査の結果を受けて、学習における課題は、職員間で共有し、今後の教育活動・学習指導にいかしていく。質問紙において児童の回答から見えてきた課題は、やろうと思ったことを最後までやり抜く力をどのようにつけていくか。自己肯定感をどう高めていくか。

加藤委員：やはり、学び合い等の教育活動にも様々制限があったコロナ禍での生活も

影響しているのではないか。

鍵渡委員：幼稚園では、行事の後に保護者から「よろこびの声」を書いていたっている。わが子の成長への気づきやその喜びが書かれており、このことを子どもたちに伝えると自己肯定感の高まりに繋がるのではないか。

境校長：良い取り組みだと思う。参考にさせていただきたい。

境校長：先日、学校の近くで怪我をされた地域住民の方が助けを求めて校内に入って来られた方がいて、その時は緊急対応をしたが、その様子を見ていた児童の心的な配慮や学校の安全管理体制の見直し等を行うといった事案があった。

加藤委員：地域にはいろいろな方がいて、そういった中で生活をしていることを子どもたちに伝えることも大事なことはないか。

境校長：児童の発達段階に合わせて理解を促していくことは確かに大事なことである。児童の中にもいろいろな特徴の子がいることへの理解を促す中で、多様性を認め、尊重する児童の育成にも繋げていきたい。

北川委員：児童の安全面については、「あそびっ子」の後に1人帰りをする子についても心配をしている。

越智委員：夜遅い時間に自転車で帰宅する児童を見かけることがある。

田中委員・加藤委員：塾や習い事があると、そういう現状であることは事実である。

伊藤委員：いつも遊んでいる公園等も時間帯によっては人気がない。

境校長：学校では、登下校は寄り道をせず家に帰る指導を、家庭でも、塾や習い事からは人気があるところを通して速やかに帰宅する声かけを今後も続ける必要がある。これまでのような地域の方からの声かけもあるとありがたい。

(6) 議事④次年度に向けて

境校長：下半期の行事について、「有鹿の森」や「Englishday」、「学習発表会」等を控えている。子どもたちの学びに繋げていきたい。

次回の学校運営協議会では、次年度に向けて改めて「目指す児童の姿」の実現に向けた取り組みについて協議を行い、ご意見をいただきたい。

碓井会長：運動会の閉会式の中の学校長の挨拶の中で来賓に向けての言葉があった際先生たちが来賓のほうを向いてきちんと敬意を表してくれたことがうれしかった。先生たちに伝えてほしい。

(7) 事務連絡

次回の学校運営協議会の開催について確認

令和5年2月24日（金）10:00から開催予定

(8) その他

学校評価アンケートを実施